



あきおおた 議会だより

第58号

発行
令和2年8月5日



●町長所信表明(抜粋)……………2
●こんなことが決まりました……………3

●10人の一般質問……………4~13
●委員会報告・編集後記……………14

編集／安芸太田町議会広報広聴調査特別委員会

〒731-3810 広島県山県郡安芸太田町大字戸河内784-1 ☎0826-28-1965

町の素晴らしい資源を再発見！ 新しい魅力を見つけ出す！！

橋本町長所信表明（抜粋）



今後4年間、町政に携わるにあたり、私の所信の一端を述べさせていただきます。

安芸太田町に移住して4年間、地域を歩きながら、私も多くの皆様から町を変えてほしいという声を頂戴してまいりました。それは合併以降も変わらず続く人口減少により、活力を失い、やがては町自体がなくなってしまうのではないかとという町民の危機感の表れだったと思います。私も同じ危機感を感じてはおりましたが、その一方で、町の将来に一筋の希望も感じるようにもなりました。それは、この4年間に、町には素晴らしい資源がたくさんあることを再確認したからです。

例えば安芸太田町のご真ん中を流れる太田川は、広島市民にはなくてはならない存在です。そのことは、太田川の上流域に位置する安芸太田

町には潜在的ファンが100万人いるという風に捉えることもできます。

上流には全国有数の渓谷、特別名勝「三段峡」があり、それ以外にも恐羅漢山、深入山、井仁の棚田や筒賀の大イチョウ、龍頭峡や温井ダム、吉水園に花の駅公園など、他の地域では考えられないほどの素晴らしい観光資源がこの町には揃っています。

また、山には豊富な森林資源もありますし、祇園坊柿や棚田米、とちの実や山菜、ヤマメなど美味しい食材も豊富にあります。

伝統芸能の神楽も盛んですし、時代を遡れば鉄の産地として栄えた歴史もあります。

では何故、これほど素晴らしい資源があるにも関わらず、安芸太田町の衰退に歯止めがかけられないのか？私がいま思いましたのは、いくら素晴らしい資源があったとしても、いつも同じ視点や考え方で捉えていては、新しい魅力に気が付くことはできないのではないかと。新しい魅力を生み出していかねば、いつか飽きられてしまうのではないかとということです。

それらの素晴らしい資源を再発見し、違う視点や考え方により、新しい魅力を見つけ出すことこそ、私が選挙で訴えてきた新しい風であり、

その風によって安芸太田町を活性化させることが、私の果たすべき最大の役割とかがえます。

具体的に安芸太田町を変えるためにわたしたちは7つの約束をしています。

●町の人口維持にこだわります。
（人口維持大作戦）

●住民と役場の協働のまちづくりを
実践します。

●自然を活かした産業振興（観光・
林業・農業）を進めます。

●ワンコインタクシーなど、便利な
公共交通システムを築きます。

●専門家の配置など、災害対策・危
機管理能力をたかめます。

●自然を活かした特色ある教育を推
進します。

●小型バイオマス発電誘致や地産地
消の推進など、地域循環型社会を
目指します。

※この所信表明は紙面の関係で割愛
していますが、全文は安芸太田町
のホームページに掲載しています。

こんなことが決まりました！

令和2年安芸太田町 第4回臨時会

4月20日

議案番号	件名	採決
議案第37号	副町長の給与の特例に関する条例の制定について	否決
議案第38号	令和2年度安芸太田町一般会計補正予算（第1号）	全会一致
議案第39号	令和2年度安芸太田町病院事業会計補正予算（第1号）	//

令和2年安芸太田町 第5回臨時会

5月12日

議案番号	件名	採決
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて（安芸太田町国民健康保険条例の一部改正について）	承認
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて（安芸太田町後期高齢者医療に関する条例の一部改正について）	//
議案第40号	令和2年度安芸太田町一般会計補正予算（第2号）	全会一致
議案第41号	令和2年度安芸太田町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	//

令和2年安芸太田町 第6回定例会

6月19日～25日

議案番号	件名	採決
報告第1号	令和元年度安芸太田町一般会計繰越明許費繰越計算書について	—
報告第2号	令和元年度安芸太田町一般会計事故繰越し繰越計算書について	—
議案第42号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	全会一致
議案第43号	安芸太田町過疎地域自立促進計画の変更について	//
議案第44号	安芸太田町行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例及び安芸太田町手数料条例の一部改正について	賛成多数
議案第45号	安芸太田町税条例の一部改正について	全会一致
議案第46号	安芸太田町国民健康保険税条例の一部改正について	//
議案第47号	安芸太田町介護保険条例の一部改正について	//
議案第48号	財産の取得について（ホイールローダ除雪車（1.6m級）その1）	//
議案第49号	財産の取得について（ホイールローダ除雪車（1.6m級）その2）	//
議案第50号	財産の取得について（ホイールローダ除雪車（2.3m級））	//
議案第51号	令和2年度安芸太田町一般会計補正予算（第3号）	//
議案第52号	令和2年度安芸太田町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	//
議案第53号	令和2年度安芸太田町病院事業会計補正予算（第2号）	//
議案第54号	町長、副町長及び教育長の給与の特例に関する条例の制定について	//
議案第55号	工事請負契約の締結について（安芸太田町簡易水道（加計地区・筒賀地区）遠隔監視システム更新工事）	//
陳情第2号	地方財政の充実・強化を求める意見書採択の陳情	採択
発議第3号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	決議
陳情第3号	森林環境譲与税の用途についての要望	継続審査



町政に物申す！10人が一般質問



吉見 茂 議員

問 新型コロナウイルスの対応は

答 経済の活性化策を進めていく

問 新型コロナウイルスによる町内業者などの減収把握とその対策について問う。

答 町長

町内事業者の減収状況につきまして、町としては、商工観光課を中心に、町の商工会とも連携をしながら把握に努めています。

これから重要なのが、アフターコロナを見据えた取り組みで、観光客の呼び込みを始めとして経済の活性化策を進めていきます。

問 特別定額給付金の申請、振り込み状況と未申請者の対応について問う。

答 総務課長

6月18日時点の給付件数で3041世帯、5944人。金額にして5億9440万円で、約97%が給付済みとなっています。

残りの未給付世帯は99世帯とな

ります。未申請者の方につきましては、再度周知を行います。

地域要望の処理について

問 町民や地域の要望に対する対応について問う。

答 町長

要望に対して、きちんと返事ができるように、管理をしていますが、ければならないと思っています。その進行管理をチェックできる体制をつくっていきます。

協働のまちづくりについて

問 協働のまちづくりを進めるためには何が重要と考えられているか。

答 町長

情報公開が一番重要であると考えています。

問 まちづくり基本条例を制定するのであれば、どのようなスケジュール感を持って今後進めていけるのか。

答 町長

しっかりと検討させていただいて、できる限り早急に基本条例について取りまとめをしていきます。





富永 豊 議員

問 ポストコロナが目指すものは

答 新たな生活様式への挑戦

問 新型コロナウイルス禍での課題と今後の方向性について。感染防止策と経済活動停止の関係について。

答 町長

経済活動の停止に伴う生活者への対応は、福祉課を中心に社協とも連携し取り組みをしています。具体的には、「児童扶養手当の受給者への特別給付金」また、「生活のための融資」「住宅確保給付金」「生活困窮者自立相談支援事業」等の相談を受けております。個人の生活ということで見えない、お困りの方の把握に注意を払い情報収集に努めています。

医療施設等の感染防止策として、特に院内感染を防ぐ観点で、水際対策、受診人数やサービス業者を制限、あるいは面会や入室制限を設け取り組みをしています。

今後第2波、3波も想定し、適切な対応を更に検討していきます。

問 日常生活の受けとめ、今後への取り組みの考えについて。

答 町長

日常生活の受けとめは、都会一辺倒のライフスタイルに対し、地域や田舎のよさが見直される時代が来ていると感じています。この流れに乗り、地域の活性化につなげる事が必要です。

今後、リモートワークの拡大やワーケーションといった取り組みが進むと考えています。

本町も環境整備を行い、積極的に町外に発信し、本町を選択される取り組みを行います。

問 有事における政治主導者の情報発信のあり方について。

答 町長

今回、誰もが経験したことがない対応で、情報の錯綜、あるいは各立場の食い違いによる情報の混乱等が国全体にあったと思っています。その上で、今回の危機管理は地方自治体が主に対応する案件で都道府県知事の発言は注目が集まりました。私自身も、同じ首長

として対応を見習っていきたくと思っています。危機管理は少し過大かと思われるぐらいの対応が必要だと思います。

問 オンライン授業への取り組みの考えについて。

答 教育長

オンライン授業は、早急に体験し研究し適正な取り組みに努めていきます。

今後第2波に備え、受験を控えている中学3年生を最優先に現在、学校で使用しているタブレットを家庭でもインターネットに接続し、学校とオンライン授業や、学習支援ソフトを使って個別学習ができる学びの保障を考えています。

問 コロナショック後の未来社会の方向性と課題について。

答 町長

本町としては、資源の活用を高め、地域力を高める技術としてICTの利活用は力を入れた取り組みをしていきます。





角田 伸一 議員

問 町長の描く安芸太田町の将来像は

答 歴史を踏まえ資源を生かし 守る新しい町

問

安芸太田町は、過疎少子高齢化の大きな流れに乗っている。早急に対応を必要とするもの、また、中期的・長期的な視点での取り組みが必要なものなど、課題は山積みである。

どのような町に変えていこうとされているのか、町長の描く安芸太田町について伺う。

答

町長

安芸太田町にはすばらしい資源がたくさんあると認識をしています。

太田川流域というのは鉄の産地として栄えた歴史もございます。資源を有効に活用しながら改めてまちづくりを進めていきたい。そのためには、新しい視点で新しい考え方によって、資源を再評価させていただくことによって新たな魅力が生まれ、その魅力を求めて多くの皆さんに訪れていただける、そういう地域になっていくのではないかと考えています。

ほかの地域からも必要とされ役に立つ、そういう地域として見られるような、町を目指していきたいと思っています。

問

最重要課題である、人口減少に歯止めをかける対策について、答弁を求めます。

答

町長

住む場所を確保するということが重要ではないかと思っています。魅力的な働き場がこの町内にあったとしても、住む場所がないと町外から通勤される方もいます。少し手を加えるだけで入居できそうな空き家が300戸程度あると聞いています。空き家の利活用による住居の確保はしっかりと力を入れていきたいと思っています。

問

新しい風で、町の危機を乗り越えるといわれる。町長の目指す町づくりは、第二次安芸太田町長期総合計画に沿って進められるものなのか、それとも計画の見直しを必要とするものなのか。

答

町長

第二次安芸太田町長期総合計画並びにこのたび取りまとめられた後期計画は、将来的に町が目指す

べき方向性を定められたものと認識をしています。今回の選挙で訴えました中身は、基本的に長期総合計画が目指す方向と変わるものではありません。

私自身が訴えてきた政策は、計画書に網羅されている政策の中でどういう優先順位で取り組むのか、あるいはどこを重点的に取り組むのかを明らかにしていくという認識をしています。その意味で計画の見直しを必要とするものではないと考えています。

防災について

問

災害事の避難について、新型コロナウイルス感染症予防対策も考慮した、避難の方法になるのかと思うが、町の考えを問う。

答

町長

消毒液やマスク、非接触型の体温計などを活用しながら、体調不良者がおられた場合には別室を用意するなど、衛生対策は行っていく予定です。

さまざまなことが考えられますが、状況に応じてしっかりと対応していきます。



平岡 昭洋 議員

問 道の駅の再開発事業の実現は

答 町民との協働で

問

町長の任期の間に実現可能な最大の事業は来夢とごうち道の駅の再開発事業だと思っ
その実現に向けての決意と町長の構想をききたい。

答

町長

この来夢とごうち道の駅の再開発事業は本町のにぎわいの中心ということもあって、町の活性化に不可欠だと思っております。

このために、事業の進め方についてはしっかりと町民の意見もきかせていただく、町民のみなさまからもアイデアをいただくということも重要です。協働のプロセスで町民のみなさんにも参加いただいて、一つのプロジェクトを実現したという、その経過そのものも町にとっては大変重要なことではないかと思っています。

今後、庁内の体制も整えた上で、これから安芸太田町に来ていただく方の玄関口として、町全体のグランドデザインにも思いをはせながら、取り組んでいきたいと思っています。



人口維持大作戦の中身は

問

町長は自身の重点政策で町の人口維持にこだわるとしているが、どのような施策を考えているか。

答

町長

安芸太田町では合併以来、毎年だいたい150人ずつの人口減少が続いています。内訳は（出生と死亡の差の）自然減少が約120人、（人の出入りの差の）社会減



町がリニューアルした田舎体験「始まりの家」辻の河原

少が約30人です。

そこでまず、社会減少を増にするために、一つは定住住宅の確保、また魅力ある就労先の確保、公共交通の充実など、もろもろの政策をパッケージにして、町の人口維持に向けて全力で取り組みたいと思います。

教育政策について

問

重点政策の自然を活かした特色のある教育とはなにか。

答

町長

私自身はこの安芸太田町のすばらしい自然を教育に活かさない手はないと思い、一つの例として、森のようちえんを挙げさせていただきました。

その他にも、例えば、登山や林業体験や、夏はプールではなく、太田川で泳ぐとか、若い世代に対しても魅力ある安芸太田町をつくりたいと思っています。

●その他、協働のまちづくり、
についても質問しています。



末田 健治 議員

問 地域の活動を登録制とし、支援をすべき

答 ぜひ検討を進めたい

問 登録地区の活動を支援する考えについて問う。

答 町長
登録地区の活動をマップ化し、安芸太田ナビや様々な施設、イベントを通じて情報発信していきたいと考えています。

問 登録地区の情報をマップ化して紹介と情報提供する考えについて問う。

答 町長
町内には特色ある地域資源があります。各地区登録できることから登録を始めていただくということについてぜひ検討をしたいと考えます。

問 地域の特色ある活動は地域の宝だ。地域特産物や、残したい自然などそれぞれの地域で創意工夫され保全活動や特産品振興が取り込まれている。この宝を地域資源として町が登録し、支援すべきと考えるがいかがか。

答 町長
安芸太田町個性ある地域づくり事業を展開しているが一団体一回限りという制約があり、今後ある程度継続して支援できるよう既存事業の拡充など検討をしていきたいと考えています。

地域懇談会の早期実施を

問 従来の懇談会は業務伝達型だったが、橋本町政スタートにあたり、どのような思いで進められる考えか。

答 町長
7月中には地域懇談会を振興会単位で取り組むべく準備をします。

答 町長
内容としては、フリートークのような形で進めたいと考えています。毎週どこかで懇談会を開催しているというスケジュールになる見込みです。

問 前町長が進めてこられた主要事業について、橋本町長の考えを示してはいかがか。

答 町長
道の駅整備のような大きなプロジェクトについて、早く進めたいという思いがありますが、町民の皆さんの声もしっかり聴かせていただく、協働のプロセスで取り組みたいと思います。



問 今後の事業展開にあたり、情報開示の在り方を示されてはいかがか。

答 町長
協働の町づくりを進めるにあたっては、町民の皆さまにも行政と同じ情報量を持っていただきた上でないと前向きな議論はできません。

答 町長
本町はすでに町づくりの基本方針をまとめていますので、その基本方針を実践するということが重要と思っています。



佐々木道則 議員

問 人口維持大作戦とは

答 いくつかの政策をパッケージで進める

問 選挙公約の具体的政策について。

- ① 人口維持大作戦の推進とは
- ② 安芸太田町丸ごと遊び場構想とは
- ③ 専門家配置、災害対策、危機管理について

答 町長

① 人口維持大作戦というのは一つの政策だけではなくいくつかの政策をパッケージで取り組まなければいけないと思います。

特に力を入れているのが空き家対策で、田舎らしい家を準備して確保することが重要だと考えています。



暮らし体験住宅

多くの空き家の中から好きなものを、皆さんの生活スタイルに合ったものを、選んでくださいという形もまた用意をする必要があるうかと思っています。そういった取り組み、空き家対策を進めたいと思っています。

② 丸ごと遊び場構想とは、一部の観光施設だけではなく、町内のいろいろな地域で遊び、あるいは自然に触れていただく、そういう思いで提案しました。

③ 町の防災の体制については、現状は危機管理を専門とする部署が無い中で、緊急時には総務課が中心になって対応しています。

業務を兼任するという形でなく、危機管理を専門とする部署を新設することなどで検討していきたいと考えています。

安芸太田病院事業についての見解は

問 ① 安芸太田病院の事業運営について。

② 地域包括システム運用について。

答 町長

① 安芸太田病院については、安芸太田町の保健・医療・福祉の中核を担う極めて重要な施設だと思っています。

町内にも地域医療を守る会も存在しており、行政だけではなく、様々な方から支えられて病院運営されているという意味でも、町としてしっかりと病院の事業運営を支えていきたいと考えています。

病院事務長

② 安芸太田病院の隣接した施設に保健・医療・福祉統括センターを設置していますが、医療に関する連携を含め一定の整理が必要と考えています。

医療現場の立場から医療データ等について情報共有することで、統括センターと連携し、地域包括システムの構築に取り組んでいきます。

町長

保健・医療・福祉の組織連携は、病院と共に議論し、体制整備の強化に取り組んでいきます。

問 水路などの補助制度見直しは



田島 清 議員

答 人口をこれ以上減らさないことが根本的解決策

問 集落内の水路や里道が崩れかかっているが、放置しておく、と修復に多額の費用がかかるが、受益者の減少により維持管理に対する負担が重くなっている。現行補助制度の見直しの考えはないか。

答 町長

水路・里道（青線・赤線）の管理は平成17年法改正により国から町に譲与されておりますが、実態は利用者負担にて維持管理をお願いしているところです。

現行補助制度では、水路4割、道路5割ですが、ほかの中山間地域直接支払制度や多面的機能支払制度などの活用により負担軽減の工夫をお願いしているところです。受益者の減少による負担の増加への対応は個別対応になると思います。



不要建物、土地などの有効利用について

問 空き家活用で町の人口維持にこだわるとされている。家屋とともに、山林や農地の寄付を募り、新規定住希望者への斡旋の受け皿を作る考えはないか。

答 町長

町としても有効利用を進め斡旋などは是非検討したいと考えています。ただし、譲渡を受けての斡旋については慎重に検討していきます。

山林については、森林環境税が国から譲渡され、所有者が適切に管理できないものを管理する制度を検討する余地がありますが、森林環境税は十分ではなく慎重な検討が必要と考えます。

家屋・農地・山林の有効活用について大変重要に思っており、町が行うのかそれともそれに代わる組織を新たに見つけるのか合わせて検討したいと考えています。



新型コロナウイルス対策の教訓について

問 コロナ禍で感染不安の解消されないなか、施行された安芸太田町長選挙であったが、来年3月インフルエンザの季節に予定の町議会議員選挙への教訓として詳細な記録を残し感染防止対策に活かすべきだ。今後の対応について伺う。

答 町長

コロナ対策について、議論の過程をしっかりと残すとともに、課題と教訓を継承していきます。

今後第2波、第3波とコロナが発生する可能性もあり、次回の町議会選挙においても適切に実施します。

総務課長

安心して投票ができるよう対策本部会議の専門委員の病院事業管理者の協力を仰ぎながら取り組みたい考えです。



課題・教訓の記録



津田 宏 議員

問 森林を利用した地域振興について

答 木質バイオマス発電や木材加工産業の創出に取り組んでいきたい

問

安芸太田町の9割近くを占める森林を活用した、「雇用の創出」「持続可能な林業についての取り組み」「倒木による山林の荒廃対策」「水源涵養機能等の森林の持つ公益的機能の維持」その他の地域効果の高い仕組みづくりを目指すべきだと考えるが、町長の所見を伺う。



荒れた山林

答

町長

町が主導で、森林の所有者に対して意向確認を行い、今後自分では施業ができないという森林を集

めて、ある程度大きな規模の森林として施業していく取組みを進めていくなから、小規模木質バイオマス発電や木材加工産業等の創出をし、安芸太田町の木材加工製品を売り込むなど、しっかりと取り組んでいきたいと思っています。

安芸太田病院のICT活用について

問

医療現場において、ICT活用は、オンライン診療や遠隔医療などの充実も必要であり早期実現が必要であるが、今後、医療におけるICT活用について考えを聞く。

答

病院事業管理者

人口減を抱える中山間地域にとって、医療人材確保が、今後困難になる事が予想されますが、ICTを駆使し都市部とは全く異なった新しい医療を展開することが、急務であると考えております。

安芸太田病院にローカル5Gの基地局を設置することにより、医療以外にも、高齢者の見守りや生活支援あるいは移動手段の確保等に活用が可能となり、高齢者にと

って優しい社会となるだけでなく、リモートワークが可能な若者の移住や企業誘致にもつながり早急に対応・導入を検討してまいります。

加計高校へのWEB授業ICT活用支援について

問

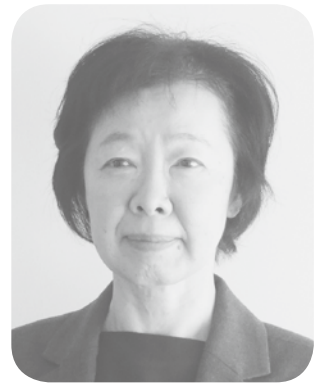
今般の新型コロナウイルス感染症対策において、生徒たちの学習を保障するという観点からICTの活用の必要性を痛感している。タブレット、プロジェクトクター等のICT機器の支援が必要と考えるがいかがか。

答

町長

加計高校を育てる会を通じて、タブレット端末を支援しています。加計高校の存続というのは必要不可欠だと思っていますので、県の動向も見ながら、加計高校と議論を進めていきたいと思っています。





大江 厚子 議員

問 町長の基本姿勢・判断の原則は？

答 住民の福祉が最優先

問 公務に携わる者は、国の最高規範である憲法にしたがって、政治や行政を遂行する義務を負っている。どう捉えているか。国の政策と住民の福祉が相反する場合、町長の判断の基準、原理原則は何か伺う。

答 町長

日本国憲法は守るべき最重要の規範として認識しています。

町長としては、一般的には住民の福祉を最優先で判断すべきと考えています。

問 戸河内幼稚園が廃園となる。子どもを預けやすい施設を、改めてつくる事を検討するか。

答 町長

選択肢を拡げるほうが重要で、森の幼稚園のような多様な教育・保育の環境整備に努めていきます。

問 旧戸河内中学校跡地利用について、地域、全町民の考えを聞く事から始めるべきではないか。

答 町長

跡地利用は地域の重要な問題で、地域住民と議論を進めます。

新型コロナウイルス感染症対策の今後の取り組み

問 各部署の今後の課題・取組について。

答 福祉課長兼健康づくり課長

福祉施設は施設内にウイルスを入れないよう、多岐にわたる感染予防を行っています。

病院事務長

症状から見て感染の疑いのある患者の収容の適切な対応について、十分な議論が必要です。

学校教育課長

検温、手洗い、密を避ける、換気、消毒作業等々学校で行っています。

児童育成課長

第2波時も、医療・介護・保育関係者等の児童の受け入れ体制は必要であり、検討しています。

商工観光課長

町内事業所より6月22日現在で52件の補助金申請が出ています。1か月の減収は、平均108万円です。

今後は、県や経産省の助成制度の活用を検討します。

水道の広域化・民営化をどうするのか

問 広島県内の市町水道事業の広域化の必要性、メリットデメリットについて伺う。

答 町長

水道事業の経営が厳しい中で、広域化により、共同で事業を進めるのはメリットと想っています。しっかり検討し、判断をしていきます。

問 水道法が改正され、民間企業の参入（運営権の取得）が可能となった。水は命だ。公共で維持し、安心して飲める水を全ての人に保障すべきだ。考えを問う。

答 町長

広域連携を進めようとしている広島県は、この方式の検討は進めていません。



中本 正廣 議員

問 選挙公約の実行は

答 具体化に向けて検討する

問

BBQ（バーベキュー）レストランの経営は、3月末終了しているのに5月19日町長選挙のハガキにはBBQレストランを経営としているというのは、偽証ではないか。

小規模林業経営と言われているが、週1日ペースの活動では経営ではないのではないか。
無所属・町民党は実態が無いもので町民に誤解を招くものではないか。

答

町長

誤解を受けたとあれば申し訳ありません。あらためてBBQを運営していたという意味です。党と言えは必ず所属、届出はしなくてもよいと受け止めており、町民党は自称で活動しているものです。

問

中央省庁職員・国会議員・広島大学とのパイプがあると言われた。公開討論会で、安芸太田病院に小児科・産婦人科医を常勤と言われているが、できないものを、人脈・パイプでいかにもできるように町民に期待感を持たせている。

答

町長

中央とのパイプとは、国土交通省、財務省、厚生労働省の人達をさします。また、国会議員時代の仕事を通しているんな分野の方との縁をいただきました。

小児科・産婦人科についてはこれまで大変難しい課題であったことは聞いています。

問

産業振興で安芸太田町復活

とは、安芸太田町野菜のブランド化の野菜とは、野菜の地産地消とはどのような野菜か。

循環型社会を目指すとは、農業の専門職を配置とはいっ配置か。

農産物の収集システムの確立とは、どこに収集するかの質問をしたが、答弁が漠然とした夢物語のようで全く具体策に欠けており町長選挙に掲げていたマニフェストとはなんであったのかを疑う。

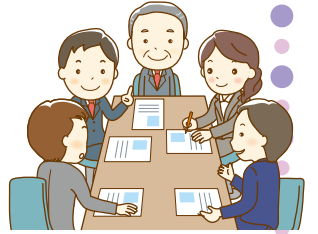
答

町長

私なりに進むべき目標、具体化に向けて検討させていただきます。



委員会報告



総務常任委員会

令和2年5月12日(火)

■所管事務調査（教育委員会）

- ・ 町内小中学校の一斉臨時休校の延長と登校日について
- ・ 在宅勤務の実施状況等について
- ・ 教育委員の辞職について

令和2年6月24日(水)

■陳情第2号

地方財政の充実・強化を求める意見書採択の陳情について審議

（安芸太田町職員労働組合からの要望）

※意見書採択と関係機関への意見書提出

令和2年6月25日(木)

■議員視察調査の候補地選定

定任促進事業で成果をあげている自治体を検討中



総務常任委員会の様子

産業建設常任委員会報告

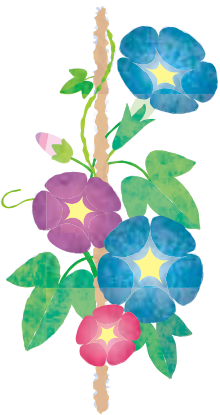
令和2年6月24日(水)

■陳情第3号

森林環境譲与税の用途について審議

（太田川森林組合からの要望）

※継続審査



地方創生調査特別委員会

令和2年6月24日(水)

■地域商社あきおたについて
（役員変更、収支状況）

■いこいの村ひろしま指定管理業務の引継

■今年度の教育旅行民泊すべて中止の方向で調整中

議会改革調査特別委員会

令和2年6月24日(水)

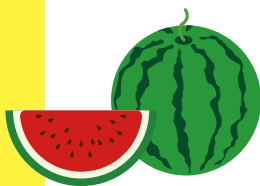
■選挙公報発行制度の導入について

■選挙公営について

■議員報酬について

●政務活動費公表

各議員から提出された、令和元年度分の政務活動費支出内訳についてホームページに掲載しています。



■表紙

筒賀保育所の七夕会



編集後記

7月の大雨による災害でお亡くなりになられた方にお悔み申し上げますとともに被災された方にお見舞い申し上げます。

安芸太田町においても国道への山腹崩壊がありました。

防災、減災のより一層の取り組みが必要です。

（吉見 茂）

・議会広報委員

- 委員長 末田健治
- 副委員長 吉見 茂
- 委員 角田伸一
- 委員 平岡昭洋
- 委員 大江厚子
- 委員 田島 清